

令和6年度環境活動報告

部局名： 社会システム経営学環

教育	<ul style="list-style-type: none">・初年次セミナー、社会システム経営入門ビジネス編、社会システム経営入門観光・まちづくり編、企業論、マネジメント活動実習などの授業を通じて、学生参加型の効果的な環境教育を行う。・専門の授業を通じて、広い意味での環境に関する教育を行う。・企業におけるSDGsやESGに関する取組みや企業経営のあり方を考える教育を行う。・地域や自治体・各種団体等におけるSDGsに関する取組みや持続可能な運営のあり方を考える教育を行う。
	<ul style="list-style-type: none">・【後藤尚久教授】「農業経済学・経営学入門」において、経済学的手法による農業の規制政策の効果について講義した。・【三井栄教授】全学共通教育前学期「環境マネジメントと環境経営」、環境マネジメントシステムの枠組みを学び、EMSの実践活動につなげていくことの一環として「環境経営と環境経済」の講義を行った。・【篠田朝也教授】「会計学」において、学環1年生および地域科学部の学生対象に会計学の基礎的内容を教授する授業を実施した。授業内で環境会計に関する講義を行っている。・【柴田仁夫准教授】「はじめての経営学(経営学入門)」(全学共通科目)でCSR, SDGsを通じて環境に対する講義を行った。・【柴田仁夫准教授】「マーケティング論」、「マネジメント特論」(地域科学部開講科目)でCSR, SDGsを通じて環境に対する講義を行った。・【柴田仁夫准教授】「農業経済学・経営学」でCSR, SDGsを通じて環境に対する講義を行った。・【柴田仁夫准教授】「社会システム経営入門 ビジネス編」、「経営戦略論」、「コーポレートガバナンス」、「ビジネスデザイン実習」(学環開講科目)でCSR, SDGsを通じて環境に対する講義を行った。・【李侖美准教授】「食料・農業政策学特論」・【李侖美准教授】「現代環境学(世界の食料と人口問題)」・【李侖美准教授】「アグリビジネス論」・【李侖美准教授】「まちづくりデザイン実習」・【市来寄治准教授】1年次(前学期)の「企業論」において企業環境、SDGsを取り扱った。・【市来寄治准教授】全学共通教育科目(前学期)の「まちづくりリーダー入門」においてSDGs関連のテーマを取り上げた。・【市来寄治准教授】2年次(前学期)の「生産管理論」においてSDGsについて取り扱った。・【市来寄治准教授】3年次(前学期)の「生産管理論」において企業環境について取り扱った。・【市来寄治准教授】3年次(前学期)の「ビジネスデザイン実習」において企業環境やSDGs関連のテーマを取り扱った。・【市来寄治准教授】全学共通教育科目(後学期集中講義)の「まちづくりリーダー実践」においてSDGs関連のテーマを取り上げた。・【市来寄治准教授】専門科目(後学期)の「イノベーションマネジメント論」において、低温廃熱を想定した蓄熱材の環境を考慮した活用方法について取り上げた。・【森部絢嗣准教授】「資源マネジメント論」 資源利用の実態や派生する文化や社会等を理解した上で、資源が持つ潜在的可能性や今後の持続可能な社会を実現する仕組みについて議論する。フィールド実習では揖斐川町に行き、地域資源がどのように点在し利用されているのか確認する。・【森部絢嗣准教授】「グローバルリーダー実践Ⅰ」 この授業は「次世代地域リーダー育成プログラム」の上級段階の授業であり、グローバル化する現代社会の中で活動ができるグローバルな人間となり、地域の中でリーダーシップを発揮できる人材ならびにリーダーを支援する人材を育成する。・【森部絢嗣准教授】「教養の環境学(生物の多様性と人間社会)」 自分たちの身の回りにどのような生き物があるのか、それらはどのように進化してきたのか、そしてそれらは自分たちの生活にどのような関係を持っているかを理解する。このような理解に基づいて生物多様性の重要性和現状を理解し、将来に向けてのあり方を論じる能力を身に付ける。

	<ul style="list-style-type: none"> ・【奥岡桂次郎准教授】「環境情報演習」において、地理情報システム(GIS)を用いて地理空間データを扱う手法を学び、環境情報の整理や土地利用・自然資源の分布をマップ化する講義を行った。 ・【奥岡桂次郎准教授】「情報学の基礎(データサイエンス入門)」(全学共通科目)で、データを用いて社会リスクを議論する講義を行った。 ・【奥岡桂次郎准教授】「オペレーションズリサーチ」において、ビジネス方針の最適化とSDGsの関係について講義を行った。 ・【川瀬真弓助教】工学部専門基礎科目(必修)の「技術表現法」(受講生約562人)において、問題解決の手法、発想の手法について学び、SDGsに配慮した技術社会の創出や、持続可能な商品・サービス開発に関する講義ならびに演習を行った。 ・【川瀬真弓助教】「デザイン思考トレーニング」大学院自然科学技術研究科(選択科目)「デザイン思考トレーニング」において、問題解決過程構造の理解、認知科学的な理論について講義し、演習活動を実施した。 ・【川瀬真弓助教】大学院自然科学技術研究科(選択科目)「デザイン思考トレーニング」において、問題解決過程構造の理解、認知科学的な理論について講義し、演習活動を実施した。 ・【川瀬真弓助教】社会システム経営学環2年生(必須科目)「デザイン思考論」において、ワークショップデザインの代表的な理論ならびに企画・実践演習、デザイン思考(スタンフォード式)の理論習得、問題解決構造の理解・実践演習、日経デザインの記事から、現在採用されているデザインの考え方について講義し、演習に取り組んだ。 ・【川瀬真弓助教】工学部大学院自然科学技術研究科Advanced Global Program(必須科目)「Advanced Workshop Design」において、環境工学、再生可能エネルギーの普及、サーキュラーエコノミーシステム、ならびに、デザイン思考の理論を英語で講義し、演習課題を課しワークショップ活動を実施した。 ・【川瀬真弓助教】工学部大学院自然科学技術研究科Advanced Global Program(必須科目)「Design Thinking Training Workshop」において、「Advanced Workshop Design」で学んだこと活用する演習課題を課し、実践的なプロトタイピングを制作する活動をとおして「人と生態系に配慮した環境システムのデザイン」として循環型経済を支援する資源回収箱を製作した。 ・【川瀬真弓助教】マネジメント・デザイン思考特論として、刃物学リーディング人材育成プログラムの試行授業「問題解決構造の理解」、「デザイン思考とシステム思考」の講義ならびに演習を実施した。 ・【肥後睦輝特任教授】「地域環境学」社会システム経営学科専門科目として、地域の自然環境の構造と動態を理解させるため、講義を15回実施した。 ・【肥後睦輝特任教授】「岐阜の自然と人: 森, 川, 湿地の利用とその保全」全学共通教育授業科目として、岐阜を含む東海地方の森林、湿地の特性について10回の講義を実施した。 ・【肥後睦輝特任教授】令和6年度社会システム経営学環公開講座において、森林資源の保全と利用について話題提供した(9/16)。 ・【肥後睦輝特任教授】令和6年度オープンカレッジin飛騨において、岐阜の自然環境の現状とその保全について話題提供した(9/21)。 ・【肥後睦輝特任教授】環境保全論Ⅰでは、保全生態学に関する講義を15回実施した。 ・【肥後睦輝特任教授】里山保全論では、里山の保全、生物多様性保全に関する講義を15回実施した。 ・【前澤重禮特任教授】農業に関して講演 ・【前澤重禮特任教授】岐阜女子短大食品品質管理論 食品管理に関しての講義を行った
	<ul style="list-style-type: none"> ・各教員が実施している環境に関する研究(環境評価、環境保全、環境修復等)を推進する。 ・生態系保全、環境保全対策で不可欠な野生動物の保護管理・鳥獣害対策に関する研究を推進する。 ・【高木朗義教授】社会と気候の変動を考慮した沿岸域の革新的高潮リスク評価と適応戦略の立案手法の開発 ・【出村嘉史教授】2025年9月25日にロッテルダム応用科学大学にて招かれて講演(Johannis de Rijke and water problems in the Kiso Delta Japan)。デ・レーケの日本における業績の評価と、オランダ・日本における当時の技術と政策背景を評価する内容。ブルーライン財団主催。 ・【出村嘉史教授】2024年9月16日、17日にウィーンで開催された国際会議(The 18th workshop on "Social Capital and Development Trends of Countryside in Knowledge Society")に参加して、「The Function of Mitonomachi Laboratory as a Small Incubator」と題する講演と、共著者による「The Detachment of Local Towns in Modern Japanese River Improvement - A Study from the Perspective of the Establishment of Chimata」と題する講演を実施した。 ・【出村嘉史教授】TUDelt, IHE (Institute for Water Education), デンハーグ市、デルフラント水政府による共同国際ワークショップnXr Designing for extremes - Heritage strategies to sea level rise adaptation)に出席し、気候変動による海面上昇に対するスヘヴェニングンの都市戦略を1週間にわたり議論し、デザインワークを実施した。 ・【篠田朝也】中国西南民族大学にてChallenges of ESG Evaluation in Japan, International Symposium on Ecological Environmental Protection and The Development of Green and Handbook Low-Carbon Economy in China(12/7) ESG投資に関する研究報告を行った。

	<ul style="list-style-type: none"> ・【森部絢嗣准教授】共同研究 エヌエスティ・グローバリスト株式会社と「中山間地域のデータ通信未整備「空白エリア」向け長距離通信プライベートLoRa商品開発と実証試験」に関する共同研究。 ・【森部絢嗣准教授】あいおいニッセイ同和損害保険株式会社と「自動車保険データを用いた野生動物関連事故の実態に関する研究」に関する共同研究。 自動車保険に付随する事故データを分析することにより、野生動物と自動車との交通事故発生時における人間側の実態解明およびそれに伴う経済的損失が算出され、新たな知見を取り入れた事故対策を目指す。 ・【森部絢嗣准教授】「地域資源活用研究会」として地域住民、企業、市民団体、大学等が協働し、新たな地域資源の創出と持続可能な利用に向けて以下の3点を実践する。 <ul style="list-style-type: none"> ①地域資源が抱える現状の整理と課題、今後の可能性について情報交換会を開催する。 ②地域資源の利用と保存に対し、新たなステークホルダーを取り入れるためにワークショップ等を開催する。 ③緊急性の高いシカ対策について、現地で持続可能な仕組みを検討し、協働体制を構築するための試行をする。 ・【森部絢嗣准教授】総務省不感地帯解消とICTツール活用による林業の就業環境改善(学術コンサル) ・【森部絢嗣准教授】野生動物のコミュニティに出現した薬剤耐性菌の蔓延機序の解明と危険度分析(科研A分担) ・【森部絢嗣准教授】地域産業における制度・慣行と地域社会の持続性に関する研究(科研B分担) ・【森部絢嗣准教授】黒焼文化の再考と可能性探索(科研C代表) ・【森部絢嗣准教授】岐阜県産地域資材を活用したクラリネットの新たな音色の創出(助成金(代表))
	<ul style="list-style-type: none"> ・国・地方自治体と連携して実施している環境活動を推進する。 ・環境に関する研修会、公開講座 ・環境に関する講演、出前授業 ・環境に関する共同研究 ・環境に関する学外委員等 <ul style="list-style-type: none"> ・【高木朗義教授】まちづくりデザイン実習において山県市と連携し「おいでよ山形の森～SDGsまけるけ」を開催した ・【高木朗義教授】国土交通省中部地方整備局 総合評価審査委員会岐阜県地域部会 部長 ・【高木朗義教授】国土交通省中部地方整備局 道路協力団体審査会 副委員長 ・【高木朗義教授】国土交通省中部地方整備局 木曾川流域委員会 委員 ・【高木朗義教授】岐阜県清流の国ぎふ森林・環境基金事業評価審議会 委員 ・【高木朗義教授】岐阜県汚水処理施設整備構想有識者会議 座長 ・【高木朗義教授】岐阜県下水道接続率向上方策研究会 有識者 ・【高木朗義教授】岐阜県除雪研究会 会長 ・【高木朗義教授】岐阜市住民自治推進審議会 会長 ・【高木朗義教授】飛騨市総合政策審議会 会長 ・【高木朗義教授】大垣市景観遺産審議会 会長代理 ・【高木朗義教授】中津川市リニアを活用したまちづくり市民会議 座長 ・【高木朗義教授】中津川市リニア岐阜県駅周辺デザイン会議 会長 ・【高木朗義教授】関市立地適正化計画推進協議会 会長 ・【高木朗義教授】長良川流域環境ネットワーク協議会 顧問 ・【高木朗義教授】ぎふPPP/PFI推進フォーラム 代表 ・【高木朗義教授】飛騨市ふるさと種蔵村 副村長 ・【高木朗義教授】一般社団法人CoIU設立基金 理事 ・【高木朗義教授】特定非営利法人G-net 監事 <ul style="list-style-type: none"> ・【後藤尚久教授】養老町消防審議会 養老町の消防体制についてメール会議にて議論した。 ・【後藤尚久教授】岐阜市指定管理評価委員会 岐阜市が管理を委託している施設の経営について審議した。 ・【後藤尚久教授】岐阜市上下水道事業経営審議会 岐阜市の水道料金改定について、市長からの諮問を受け、答申案について審議した。 ・【後藤尚久教授】岐阜市観光振興検討委員会 岐阜市の観光振興財源と用途について検討している。

社会連携

- ・【三井栄教授】観光による地域づくりを目的に、実際にターゲット層を想定した上で持続可能となる観光振興策を提案するため、高山市を対象に観光事業者と連携してツアーを実施した(R6.8.8-9)を行った。
- ・【三井栄教授】企業とのコラボレーション企画として、ターゲットを設定し「見る」「食べる」「買う」「イベント(体験)」×回遊性を取り入れた高山市街地周遊ツアーの作成するため、飛騨地域の観光資源の見学と企業へのクーポンを依頼する実習(R6.5.26-27)を行った。
- ・【三井栄教授】春日井市開発審査会
- ・【三井栄教授】各務原市PFI事業者審査委員会
- ・【三井栄教授】岐阜県開発審査委員会
- ・【三井栄教授】愛知県地価調査会議
- ・【三井栄教授】岐阜県事業評価監視委員会
- ・【三井栄教授】岐阜県森林審議会
- ・【三井栄教授】観光振興検討委員会
- ・【三井栄教授】岐阜県内水面漁場管理委員会
- ・【三井栄教授】岐阜県産業廃棄物処理施設等意見調整委員会
- ・【三井栄教授】瀬戸市企業立地審査会
- ・【三井栄教授】日本政策投資銀行岐阜県アドバイザーボード
- ・【出村嘉史教授】まちづくりデザイン実習 担当の柳ヶ瀬のまちづくり実習においては、柳ヶ瀬を楽しいまちにする株式会社・岐阜市未来のまちづくり財団をパートナーとして、進行中のやながせ日常ニナーレのサポート実習に、参加型プログラムの活性を指導した。
- ・【出村嘉史教授】岐阜市主催の政策づくりワークショップ「岐阜市の未来を共に考えるワーキンググループ」を企画・運営・指導した。
- ・【出村嘉史教授】岐阜県庁にて岐阜県建築審査会に出席し、案件を審議した。
- ・【出村嘉史教授】一宮駅前の銀座通りなどを含むエリアのこれからを考えるシンポジウムを企画・登壇し、継続的な議論を行った。
- ・【出村嘉史教授】甲賀市紫香楽宮跡遺跡調査整備委員会の委員として、調査報告書の確認や討議を実施。
- ・【出村嘉史教授】木曾川流域の営み・文化を研究する研究グループの活動を実施した。研修会は、2024年10月に実施。
- ・【出村嘉史教授】風景塾実行委員会(中部地方のデザイン系教授リーグ)による実践型研修プログラム風景塾を企画・実施。(2024年11月実施)
- ・【出村嘉史教授】岐阜市長良川流域の文化的景観検討委員会の委員として参加し、具体的な現状変更に関する検討・議論を行った。
- ・【出村嘉史教授】一宮市デザイン懇談会の座長として、同懇談会に出席し、検討・議論を複数回行った。
- ・【出村嘉史教授】ハーグ市(オランダ)とレシフィ市(ブラジル)の共同開催による国際ワークショップに参加し、気候変動下の都市デザインについて議論を行った。
- ・【出村嘉史教授】岐阜市・柳ヶ瀬を楽しいまちにする株式会社と連携しながら、2024年10月の社会実験の準備を指導した。
- ・【篠田朝也教授】岐阜県の県営水道に関するアドバイザー業務を担当した。
- ・【篠田朝也教授】各務原市が建設予定の新総合体育館・総合運動防災公園の整備に関連する民間活力導入についてのアドバイザー業務を実施した。
- ・【篠田朝也教授】岐阜市「都市と地域コミュニティの持続可能性に関する懇談会」の座長を務める。ごみ処理問題などの地域課題について議論を行った。
- ・【篠田朝也教授】大垣市を中心としたSDGsの取り組みの一環であるマーブルクレヨンプロジェクトにゼミで参画し、その様子が岐阜新聞に掲載された(12/25朝刊)。
- ・【篠田朝也教授】大垣市を中心としたSDGsの取り組みの一環であるマーブルクレヨンプロジェクトにゼミで参画し、その様子がぎふチャンで放映された(1/16)。
- ・【柴田仁夫准教授】「県産品プロモーション・新販路開拓事業委託業務」プロポーザル評価会議
- ・【柴田仁夫准教授】「首都圏県産品販売コーナー設置・運営委託業務」及び「県産品ブラッシュアップ事業委託業務」プロポーザル評価会議
- ・【柴田仁夫准教授】岐阜県中小企業家同友会 新入社員合同入社式記念講演@ホテルパーク タイトル:『地域中小企業の可能性』
- ・【柴田仁夫准教授】「大都市圏バイヤー個別商談会事業委託業務」及び「大都市圏で開催される食品展示商談会出典事業委託業務」プロポーザル評価会議
- ・【柴田仁夫准教授】「大阪万博に向けた県産品販路拡大事業委託業務」プロポーザル評価会議
- ・【柴田仁夫准教授】中部経済産業局「令和6年度地域連携による地域資源を活用した地域団体商標・地域ブランド活用促進事業」審査委員
- ・【李侖美准教授】岐阜県協同組合間提携推進協議会
- ・【李侖美准教授】農業・農協問題研究会に参加「WEB会議、訪問日6月1日」
- ・【李侖美准教授】岐阜県協同組合を考える集いで報告
- ・【李侖美准教授】下呂市市役所 聞き取り調査
- ・【李侖美准教授】岐阜養鶏 飼料用米に関する研究発表

	<ul style="list-style-type: none"> ・【森部絢嗣准教授】岐阜県、岐阜県生態系被害防止外来種リスト作成調査検討委員会 ・【森部絢嗣准教授】揖斐川町春日笹又地域振興会、委員 ・【森部絢嗣准教授】ぎふジビエ協会、顧問 ・【森部絢嗣准教授】長野県環境部自然環境課、長野県版レッドリスト改訂検討会議員および専門会議員 ・【森部絢嗣准教授】岐阜市、岐阜市環境審議会委員 ・【森部絢嗣准教授】岐阜県、レッドデータブック改訂調査検討委員会委員 ・【森部絢嗣准教授】愛知県、愛知県環境審議会専門委員 ・【森部絢嗣准教授】農林水産省、農作物野生鳥獣被害対策アドバイザー ・【森部絢嗣准教授】岐阜県中部山岳国立公園活性化推進協議会 乗鞍山麓五色ヶ原の森哺乳類研修ぎふの野生動物のいろいろな話 ・【森部絢嗣准教授】岐阜県内ニホンザル対策を実施する地域集落に対する研修会 ・【森部絢嗣准教授】林野庁 令和5年度林業関係者等によるシカ捕獲活動支援検討業務 アドバイザー ・【森部絢嗣准教授】中部山岳域の野生動物 講師 ・【森部絢嗣准教授】野生動物とのつきあい方 講師 ・【森部絢嗣准教授】野生動物研究で生きていく 講師 ・【森部絢嗣准教授】イノシシおよびシカの生態と被害対策 講師 ・【森部絢嗣准教授】生態学講座(哺乳類) 講師 ・【森部絢嗣准教授】令和6年度公開講座「ぎふの自然を知ってつかう～植物・野生動物・地理情報の観点から～」 ・【森部絢嗣准教授】生態学講座(哺乳類) 講師 ・【森部絢嗣准教授】岐阜県生態系被害防止外来種リスト作成調査検討委員会 委員 ・【森部絢嗣准教授】e-kamonまるごと環境フェア2024 パネリスト ・【森部絢嗣准教授】「清流の国ぎふ」文化祭2024 講師 ・【肥後睦輝特任教授】「岐阜市一般廃棄物最終処分場選定委員会」岐阜市一般廃棄物の次期処分場の候補提選定に関し意見交換および審議した(5/21、5/31、6/13、6/28、7/16、8/9、8/21、9/9、9/20)。 ・【肥後睦輝特任教授】「前沢湿地保全検討委員会」御嵩町前沢湿地の再生を目的とした保全作業について意見交換し、現地で指導・監督を実施した(4/23、10/22、12/1)。 ・【肥後睦輝特任教授】「土岐市文化財審議会」土岐市シデコブシ自生地において、シデコブシの開花状況調査を実施した(4/5)。 ・【肥後睦輝特任教授】「御嵩町環境保全スタートアップ支援事業」御嵩町で環境保全に取り組む団体への支援事業について意見交換し、対象事業団体へのヒアリングを実施した(6/3、7/12)。 ・【肥後睦輝特任教授】「中津川・恵那広域ごみ処理施設整備建設候補地検討委員会」中津川市、恵那市のごみ処理施設候補地の選定について意見交換し、審議した(6/12、7/18、7/26、9/13、11/19、1/4)。 ・【肥後睦輝特任教授】「畜産センター公園再整備検討協議会」岐阜市畜産センター公園の再整備について意見交換し、審議した(7/2、10/4、10/9、11/6、11/11、2/27)。 ・【肥後睦輝特任教授】「岐阜県環境影響審査会」クリーンセンター最終処分場整備事業について審議した(11/11)。中部電力パワーグリッド株式会社提出の方法書について審議した(2/19)。 ・【肥後睦輝特任教授】「大洞の里山つくり会」岐阜市大洞の里山の保全対策について市民団体と意見交換し、作業の指導・監督に取り組んだ(4/27、5/25、6/22、7/27、8/24、9/28、10/26、12/21、1/25、2/22)。 ・【肥後睦輝特任教授】中津川市環境政策課およびシデコブシを守る会と共同でシデコブシ自生地の保全田策について意見交換し、保全作業の指導・監督に取り組んだ(4/3、6/15、10/17、12/5、12/12、12/17、12/19、1/14、1/21、1/30、2/3、2/6、2/12、2/20、2/21、2/28)。 ・【肥後睦輝特任教授】苗木城跡整備委員会にて、苗木城跡の整備計画について審議した(11/18)。 ・【肥後睦輝特任教授】岐阜県地域森林監理士認定審査会に出席し、「岐阜県地域森林監理士」の養成及び認定に関する事項について助言した(2/17)。 ・【前澤重禮特任教授】岐阜県食品ロス軽減委員会 岐阜県食品ロス軽減に関して協力 ・【前澤重禮特任教授】岐阜県SDGs推進協議会 岐阜県SDGs推進に関して協力
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">キャンパスプラン</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ISO14001環境マネジメントシステムの一層の推進を図る。 ・再生資源・リサイクル材活用、廃棄物の削減に努める。 ・環境に対する意識向上のため、学生と教職員に年に2回のクリーンキャンパスの活動への参加を促す。 ・環境マネジメントシステムに係る教育訓練再確認シートをMicrosoft Formsを用いてオンラインで回答できるようにし、環境意識の啓発に努めた。 ・学環事務室に省エネ・環境に関するポスターを掲示し、教職員・学生の環境に対する啓発を行った。 ・クリーンキャンパスに積極的に参加し、環境に対する意識の向上を図った。